



# 土岐市

# 議会だより

発行:土岐市議会 編集:広報広聴特別委員会 TEL(0572)54-1111(内線351) FAX(0572)54-8971 E-mail:gikai@city.toki.lg.jp

平成27年11月15日 第52号



テラスゲート土岐



土岐プレミアムアウトレット

伸びゆく土岐市

## 目次

- 第4回定例会報告…………… 2～5
- 一般質問…………… 6～11
- 視察報告…………… 12
- 議会報告会を開催しました …… 13
- 編集後記…………… 14

# 平成27年 第4回定例会報告

議案番号	議案名	議案の主な内容
議第40号	平成27年度土岐市一般会計補正予算(第2号)	補正額 44,135千円
議第41号	平成27年度土岐市介護保険特別会計補正予算(第1号)	補正額 17,081千円
議第42号	土岐市税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の一部改正に伴うもの
議第43号	土岐市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴うもの
議第44号	土岐市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の制定及び住民基本台帳法の一部改正に伴うもの
議第45号	土岐市教育委員会委員の選任同意について	齋木寛治さんの選任同意
議第46号	土岐市公平委員会委員の選任同意について	奥村康子さんの選任同意
議第47号	財産の取得について	高規格救急自動車を取得しようとするもの
議第48号	土岐市指定金融機関の指定について	指定金融機関を指定するもの
議第49号	第六次土岐市総合計画基本構想について	総合的かつ計画的な市政運営を図るため、この基本構想を定めようとするもの
議第50号	平成26年度土岐市一般会計決算の認定について	歳入 22,449,800,309円 歳出 21,757,576,097円
議第51号	平成26年度土岐市下水道事業特別会計決算の認定について	歳入 2,106,978,225円 歳出 2,106,978,225円
議第52号	平成26年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について	歳入 6,490,550,563円 歳出 6,299,513,737円
議第53号	平成26年度土岐市自動車駐車場事業特別会計決算の認定について	歳入 67,968,152円 歳出 61,888,801円
議第54号	平成26年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について	歳入 5,140,832,508円 歳出 5,123,251,956円
議第55号	平成26年度土岐市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	歳入 32,774,789円 歳出 32,774,789円
議第56号	平成26年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計決算の認定について	歳入 34,471,513円 歳出 34,471,513円
議第57号	平成26年度土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会特別会計決算の認定について	歳入 4,498,532円 歳出 4,498,532円
議第58号	平成26年度土岐市後期高齢者医療保険特別会計決算の認定について	歳入 666,573,010円 歳出 648,579,160円
議第59号	平成26年度土岐市病院事業会計決算の認定について	歳入 6,177,973,519円 歳出 7,060,418,142円
議第60号	平成26年度土岐市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	歳入 2,219,842,595円 歳出 2,531,755,809円
議第61号	土岐市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例について	被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴うもの
議第62号	土地の取得について	曾木町字君ヶ塔1251番1ほか7筆を取得しようとするもの
議員提出第6号	土岐市議会会議規則の一部を改正する規則について	

第4回定例会には、平成27年度補正予算関係2件、条例関係4件、その他の案件6件、平成26年度決算関係11件の合計23件が市長から上程されました。今定例会に上程されました予算関係、条例関係、その他の案件の21件は、各常任委員会に付託され、9月7日～11日、25日に審査し、本会議において、原案のとおり可決及び認定しました。

人事案件2件については、2日目に採決をし、原案のとおり同意しました。また、議員提出議案1件を提案し、全会一致で可決しました。本会議での採決状況及び結果につきましては、下記のとおりです。

○：賛成 ×：反対

議決結果	小関篤司	水石玲子	水野哲男	各務和彦	和田悦子	北谷峰二	鈴木正義	山田正和	後藤久男	加藤淳一	加藤辰亥	楓博元	杉浦司美	渡邊隆	高井由美子	山内房壽	小栗恒雄	西尾隆久
可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○
可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 委員会報告

## 第2常任委員会

第2常任委員会に付託されました議案は、補正予算関係1件、決算関係5件でありました。

### ☆平成27年度土岐市一般会計補正予算(第2号) 所管部分

**質疑** 農業振興費の担い手経営発展支援事業に対する補助金30万円の積算内容は。

**答弁** 法人登記に要する謝金等の事務費である。

**質疑** 観光費の東濃ぐるりん観光事業負担金について。

**答弁** 国の地方創生先行型の上乗せ分を利用し、広域連携による観光PRをしていくものである。

### ☆平成26年度土岐市一般会計決算の認定について(所管部分)

**質疑** 農業振興費の青年就労給付金が前年度比75万円の増となっているがその理由は。

**答弁** 国の景気対策の一環として平成27年度の一期分を前倒しする形で、平成26年度に執行したことによるものである。

**質疑** 美濃焼産業活性化事業のプレミアムブック作成業務について。

**答弁** 作り手の思いや魅力あふれるこだわりの作品を紹介した冊子を1万部作成し、各種イベント会場で配布するなど美濃焼のPRに努めた。

**質疑** 観光大使委嘱事業の効果は。

**答弁** 東京ドームで開催のテーブルウェアフェスティバルにおいてトークショーを催行するなど各種イベントへの出演によるメディア的な宣伝効果が顕著であった。

**質疑** 妻木南部土地区画整理事業の進捗状況は。

**答弁** 補償交渉に若干の遅れはあるが、計画全体に変更はない。

**質疑** 笠神公園の整備状況について。

**答弁** 市民プールの解体は終了しており、今後、公園の整備に着手する予定である。

**質疑** 学校建設費の監視カメラ更新事業について、個人情報保護に関する条項はあるのか。

**答弁** 情報セキュリティを確保する条項が仕様書に定めてある。

**質疑** 文化振興費の委託料について、不用額が2200万円程あるがその理由は。

**答弁** 文化振興事業団への委託による精算戻入であり、文化振興事業団のコスト意識、効率の良い運営の結果としての不用額である。

**質疑** 教育振興費の夢の教室の効果は。

**答弁** 夢を持ちにくい子どもたちが将来に憧れを持ち、自分の将来について考えるきっかけづくりとなった。



▲夢の教室(泉西小学校)の様子

**質疑** 美濃陶磁歴史館費の陶磁資料購入について、その査定方法は。

**答弁** 審査員2名による資料の確認、調書の提出等厳密かつ厳正な審査結果を基に執行している。

**質疑** 環境センター職員及び給食センター職員の人件費について、電源立地地域対策交付金が充当された職員の数は。

**答弁** 環境センターについては技能員30名、給食センターについては調理員20名である。

**討論** 電源立地地域対策交付金を、市職員の人件費に充てることは、適正でないとの思いから、賛成できない。

☆平成26年度土岐市農業集落排水事業特別会計決算の認定について

**質疑** 水洗化率は何か。

**答弁** 平成26年度末で60・5%である。

## 第1常任委員会

第1常任委員会に付託されました議案は、補正予算関係2件、条例関係4件、決算関係7件、その他4件でありました。

### ☆平成27年度土岐市一般会計補正予算(第2号) 所管部分

**質疑** 番号制度システム改修費について、システム改修費用は、今後も発生するのか。

**答弁** 年金機構の情報流出問題もあり、セキュリティ対策に費用がかかると予想される。

**質疑** 生活困窮者自立支援事業について、運営主体と補助対象事業は。

**答弁** NPO法人に委託する予定であり、備品購入費及びアルバイト職員の人件費が主なものである。

**討論** 個人情報保護対策に問題がある番号制度の予算が含まれる、この補正予算には反対する。

**討論** 特定個人情報保護評価についての取り組みは進んでいるため賛成する。  
☆土岐市条例の一部を改正する条例について



▲ 個人番号カードのみほん

**質疑** 個人番号または法人番号を有しない者とはどういう者か。

**答弁** 個人番号を有しない者とは海外転出者のような住民基本台帳に登録されていない者で、法人番号を有しない者とは個人事業主のことである。

**討論** 情報漏えいによるプライバシー侵害や犯罪に悪用される恐れのある番号制度の導入に伴う市民税等の事務手続きに個人番号または法人番号を求めた改正であるこの条例には反対する。

**討論** 番号制度に係る市民の懸念にすみやかに対処することを要望し、賛成する。

☆土岐市手数料徴収条例の一部を改正する条例について

**質疑** 個人番号カードの再発行手数料の算出根拠は。

**答弁** 国が提示した金額を基にしている。

**討論** 情報漏えいによるプライバシー

侵害の危険や莫大な費用がかかる番号制度の導入に伴うこの条例には反対する。

☆第六次土岐市総合計画基本構想について

**質疑** 総合病院や保育園等重要施策の今後方針が、基本構想からは読み取りにくいのではないか。

**答弁** 基本構想と実施計画の二層構造とし、個別計画も基本構想の下位計画として位置付けている。

**討論** 基本計画がなくなり、施策が抽象的で分かり辛いため反対する。

**討論** 個別施策については、各論でしっかり議論するものであり賛成する。



▲ 総合計画審議会の様子

☆平成26年度土岐市一般会計決算の認定について（所管部分）

○歳入について

**質疑** 消防費補助金の充当先について。

**答弁** 電源立地地域対策交付金として消防職員の人件費に、市町村振興補助

金として防災関連経費へ充当される。○歳出について

**質疑** 児童福祉総務費のファミリーサポートセンター事業の利用実績について。

**答弁** 516件、実働時間が1010時間である。

**質疑** 病後児保育事業の利用実績について。

**答弁** 登録者は31名で、利用実績は5件である。

**討論** 個人情報保護対策に問題がある番号制度の執行が含まれる、この決算には反対する。

☆平成26年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について

**質疑** 国民健康保険料の軽減世帯の割合は。

**答弁** 平成26年度末で60%である。

**討論** 低所得者の加入率が高い国民健康保険では保険料の引き下げを行うことが重要であり、保険料の引き上げと前期高齢者の窓口負担増を盛り込んだこの決算には反対する。

☆平成26年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について

**質疑** 地域支援事業の任意事業の不用額について。

**答弁** ふれあいサロンを8か所増で見込んでいたが、1か所の増に留まった。

**討論** 要支援者への介護予防サービス

において当初予算より18.7%もの不用額を出しているこの決算には反対する。

☆平成26年度土岐市後期高齢者医療保険特別会計決算の認定について

**質疑** 収入未済額と不納欠損額ともに増加しているが、保険料上昇による低所得者への影響は。

**答弁** 生活困窮等により納付が出来ない方は278名である。

**討論** 年齢による差別医療と言える後期高齢者医療保険制度は一日も早く廃止すべきであり、高齢者への保険料負担増と窓口負担増を強いるこの決算には反対する。

☆平成26年度土岐市病院事業会計決算の認定について

**質疑** 平均在院日数が前年比で伸びている理由は。

**答弁** 昨年8月から1病棟を地域包括ケア病棟としたことにより伸びている。

**質疑** 決算の総括として課題や今後についてどのように分析しているか。

**答弁** 医師不足が赤字の大きな要因であり、医師確保に努めていきたい。

**質疑** やすらぎの入所率が下がっている要因は。

**答弁** 介護職員の不足と利用者のニーズにより適合している特別養護老人ホームへ入所者が流れていることが考えられる。



渡邊 隆

◆マイナンバー制度と土岐市版概要実施準備

①マイナンバー制度と目的について。

②住民一人一人に個人番号を付番し、税務署、土岐市、健康保険組合等が保有している同一人物の情報であるということを確認することが可能になる。同じく法人も付番されます。制度の目的は自治体で書類審査に費やすコストや時間、労力が削減されるほか添付書類が削減される。また、負担を不当に免れたり、不正受給を受ける等が防止されます。

通知カードと個人番号カードの違いは、住民票を有する全ての方へ通知カードが今年度10月以降に住民票の住所に転送不要の形で簡易書留で送られてくる紙製のカードです。指名、住所、生年月日、性別の基本4情報が記載されています。このカード単体で本人確認は出来ません。有効期限はなしです。個人番号カードはプラスチック製ICチップの付いたカードで、4情報と本人の顔写真が表示されます。希望する人が申請

し、来年1月以降に市役所窓口で交付されます。個人番号を証明する書類で本人確認の際の公的な身分証明書です。有効期限は10年で未成年者は5年です。

③番号法5条で地方公共団体の責務について、地方は自主的かつ主体的に実施する記述ですが、市の責務は。

④国と連携する事務3分野の社会保障、税、災害対策、現状ではこの事務以外には主体的に使えない。

⑤市の創意を生かして独自の法制化の道があると思います。懸念として、なぜ個人番号カードが住民票に記載されている対象者全員に交付されないのか。

⑥(市長) 個人番号は国民全員に付番される。情報は国、市が管理します。本人確認の際に持っているもので、利便性のために個人が望まれば持つという仕組みです。正しいカードの発行、管理という観点から全員に配布されないと解釈します。

⑦カード配布事務、個人情報保護措置は万全ですか。実務的な目録等システム整備作業等の備えは。

⑧市民部窓口での対応事務量や仕事等実際に負担増はあるが、統一的に対応し、負担を少なくするよう努めたいです。リスクについては特定個人情報保護評価として17事務事項を事前に報告済みです。

《第4回定例会一般質問》



北谷 峰二

◆核融合科学研究所の火災事故について

①土岐市は核融合科学研究所を誘致し、安全評価委員会から「安全である」という評価と当時のパブリックコメントによる市民の賛成の多い意見をともに同意され、2013年に協定書と覚書を交わし重水素実験に加藤市長自ら同意書にサインされております。それ故に土岐市長として核融合科学研究所が市民の不安を抱かせるようなことはとても心外ではないかと私は思う。この研究所北側土岐口にはアウトレットモール、今年オープンした「まちゆい」があり、4～5年先には岐阜県下最大規模の商業施設も開業予定と聞く。このような賑わいを取り戻しつつある土岐市のイメージを損ねるような事故を今度こそ起こさないよう研究所に対し土岐市長として、今回この2度目の火災事故をどのように考えるのか、また強く抗議する考えはないのか。

②(市長) 今回の事故に関し市及び核融合科学研究所これは両者とも大

変残念な事態だと認識している。2003年に二度とやらないとおっしゃったが善良な市民であれば火災を起すことは二度とやらないと言うのが理念でございます。問題は発生原因で過失による発生原因なのか誰の責任による火災なのか故意なのか偶然なのか。そういう原因が一番火災は大事だと思う。今回の場合、実験に基づく火災ではないということがまず一点、一番現場を良く知って見える方が犠牲になられたということから原因追及は警察及び労働基準監督署がやっているが、原因が明らかにならないとどこに責任の所在があるか私は分らない。そしてこれが必ずしも明らかになるという保証もないというの、一番の原因者が亡くなられており残念である。いずれにしても遺憾なことで私は原因追及と再発防止について慎重に検討して頂きたいと要請はしました。ただ抗議するかしないかという問題は、今回の場合研究所についても多大なる犠牲者であると思っている。原因が明らかになった時点で考えたい。

●市長が答弁された中で研究所もある意味犠牲者であるというの違和感がある。質問の中で一番の核心は核融合科学研究所の安全管理体制に問題があるのではないかとということで質問させてもらった。



小関 篤司

◆マイナンバー制度について

問 制度を利用して、税や保険料の財産差し押さえ、強制徴収の考えは。

答 税・保険料の徴収強化には、運用しないことと、社会保障の給付削減につながる認識は持っていないません。

問 今後利用拡大していく考えは。

答 現在、法律で定められた業務のみ使用できることと、税、社会保障、災害対策の分野に限定されるという認識でおります。

●情報は集約・連携させると犯罪に利用される危険性も高くなるので、出来るだけ限定させるか、いっそもめることが大事だと思います。

◆核融合科学研究所の火災事故について

問 立入検査・査察指導は行われているのでしょうか。

答 消防法に基づく防火対象物、危険物施設等の立入検査、あるいは査察指導は毎年実施しており、今年は3月に3日間かけ実施しております。

◆高レベル放射性廃棄物の最終処分場について

問 国主導の選定方式に変更後、今年

6月に自治体向け説明会が非公開で開かれましたが、その内容は。

答 原子力発電環境整備機構から、高レベル放射性廃棄物について、処分方法、地層処分地の安全性、地層処分事業の進め方について、経産省資源エネルギー庁の放射性廃棄物等対策室から、長期エネルギー需給見通しの検討状況について、見通しの位置づけ、基本方針、さらに最終処分に向けた取り組みとして、経緯、考え方、現世代の責任と将来世代の選択可能性、国選定方式に変更という内容の説明がありました。

問 もし選定された場合は。

答 (市長) 土岐市にも近隣地域にも来て頂かないよう反対いたします。

◆住宅の在り方について

問 市営住宅の老朽化施設は。

答 耐用年数を現在超えるものは、267戸、56・1%であります。

問 市営住宅を必要としている方が、多くみえるが、今後どうなるのか。

答 来年度策定の公共施設等総合管理計画の中で、管理、廃止、建替えるものを検討していきます。

問 市長が公開討論会で言われた駅前

に交通弱者の集合住宅誘致とは。

答 駅前地区の活性化には人口集積が一番つながるという観点で、高齢者専用住宅をとという考えで、市独自で建設ではなく誘致ということです。

《第4回定例会一般質問》



各務 和彦

◆マイナンバー制度について

問 申請をして交付を受けた個人番号カードのICチップには、個人電子証明書が格納されている公的個人認証アプリ等があります。ICチップの空き領域がその中にも含まれていると思いますが、空き領域について土岐市独自のアプリの導入を考えているのかどうかをお聞きしたい。

答 個人番号カードには、ICチップがついておりまして、その空き領域を利用して各種のサービスを付加することができるようになっております。国においては、空き領域を活用して例えば健康保険証などの資格証明に係るカード類の一元化であるとか、コンビニエンスストアでの住民票の写しの交付等のサービス拡大など広く普及させたいという方針を持っているようです。ただ、今の段階として、市としてもその利活用について検討することは必要かと考えておりますが、一方でシステム改修等に非常に多大なお金が必要になってくるということも考えられます。費用対効果、民間での利活用場の拡大状況を見極めながら検討していきたいと考えているところです。

問 情報漏洩に対する市職員の危機管理意識の向上として、具体的な研修内容をお聞きしたい。

答 市では、パソコンを利用したeラーニングという方法で、日常的にパソコンを利用しての職員に対してこれまで情報セキュリティ、あるいは個人情報保護といったテーマで継続的に研修を実施し、今回の個人番号制度に対して、新たなeラーニング研修を昨年度から実施し、当該制度に関係のある税務課・福祉課・高齢介護課などの職員が重点的に受講するという事で、職員の意識・知識の向上を図り、人的な安全管理措置を講じているところです。

◆労働安全衛生法の改正について

問 従業員50人以上の事業場にストレスチェック検診の義務化の改正が盛り込まれ、検診結果の措置を講ずることとなりました。当局職員の対応状況をお聞きしたい。

答 平成25年度から年に1回実施。全ての正規職員を対象に職業性のストレス簡易調査方法による。結果については個人宛に送付され、希望者はフォロー面談。ストレス度の高い職場の所属長には、産業カウンセラーとの面談を実施しております。



加藤 辰亥

問 認知症の早期発見の具体策は。

答 軽度の認知症、あるいは若年性認知症を含めた認知症の早期発見や早期の対応は、認知症の病状の進行を遅らせることができるとされています。認知症の初期症状があらわれた方、一般的には高齢者になろうと思いますが、そういった方を早い段階で発見して早急に対応ができる、そのためにも認知症に対する正しい知識と理解を深めることが必要であろうと考えています。まず認知症を支える側の対応として、認知症サポートー養成講座により、認知症のことを正しく理解していただく方を増やすということ。そして、認知症ケアパスを作成し、その周知と活用を図ることによりまして迅速な対応ができるようにします。そして、認知症の初期集中支援チームの設置、あるいは認知症地域支援員の配置、相談体制の充実、場合によっては成年後見制度の利用等によって、認知症を全体で支援していく体制の構築が必要であると認識をしています。一番

肝心なのは認知症にならないことではないかと思っています。認知症にならないために、高齢者が引きこもったりしない、なるべく外出していただく、そして人と接して会話をしたりする、また、講座などに参加して脳の活性化、運動機能の向上を図るといふ介護予防事業が重要であろうと考えていますので、こちらの充実をも図っていきたくと考えています。

問 セルフチェック等の取組み状況は。

答 活動量チェック等の取組み状況は平成24年8月1日から、携帯電話あるいはパソコンからアクセスして心と体の状態を確認できるサービスとして、心の体温計、メタボチェックシステム、メタボチェックシステムの中に活動量システムがありますが、これらを開始しています。市民の皆さんへの周知としてはサービスの開始に合わせて、心の健康啓発チラシというものを広報の平成24年8月15日号で全戸配布しました。導入直後の日刊紙にも取り上げていただきました。同年10月の「健康を守る市民の集い」では専用のブースを設けましてチェックを体験していただきました。25年度も広報やチラシの全戸配布などを行いました。26年度は成人式で心の健康啓発クリアファイルを配布させていただきました。

《第4回定例会一般質問》



水野 哲男

◆ 濃南地域の人口減少対策について

濃南地域の診療所開設について、地域への住民が安心して生活でき、ここに移住を考えてみえる方にとっても近くに医療機関があることは大きな安心につながると考え、当地域での診療所開設についての見解をお尋ねしたい。

濃南地域においては、平成10年から医療機関がなくなり、現在に至っていることは承知している。

特に、高齢者世帯、子育て世帯にとっては、近くに医療機関があることは、暮らしの上で安心につながるものと認識はしている。

しかし、本市の急速に進む人口減少、少子高齢化による財政運営は一層厳しくなり、加えて医師の確保も大変厳しい状況であり、現状では診療所の開設は非常に難しい。

濃南地域の高速通信網の整備について

現代の情報化社会において、高速インターネット環境は欠かせない存在であり、定住や企業誘致、観光振

興につながる大きな要素であると考えられる。そこで、名古屋市や豊田市などの大きな都市からも近い濃南地域の、光通信等の高速通信網の整備についての考えをお尋ねしたい。

高度情報化社会と言われる現代社会において高速インターネット環境は、企業活動、市民生活の中に浸透しており、欠かせない存在になっている。しかし、こうした整備については民間資本で行われるべきものと考えており、まずは民間業者への働きかけから進めて行き、市としてもどのような支援ができるのか検討したい。

◆ 安全で災害に強い道路整備について

ラウンドアバウトについては、(環状交差点)は、信号交差点と比べ通過する車の速度が遅く、重大事故の減少や災害時の渋滞や事故防止に寄与すると思われる。今後の市の道路整備に考慮できる面も多くと考え、市の考えをお尋ねしたい。

ラウンドアバウトは、安全で円滑な道路交通を確保することができる円形平面交差点の一種で、そのメリットについては非常に良いと認識している。今後、市の道路整備に際し、国の基準等も考慮に入れ、検討案の一つとして行きたい。



鈴木 正義

◆土岐市立総合病院の外来・入院患者の利用状況について

〔問〕外来・入院患者数（4月～8月の統計）について、また、他病院への転院・紹介状発行件数についても理由も合わせて教えてください。

〔答〕外来患者数は昨年は約5万5千人、本年は約4万9千人で、そのうち、昨年の7月からの1年間で他への紹介状発行件数は約1000件です。

入院患者数は昨年は約2万3千人、本年は約2万5千人で、他への転院紹介状の発行件数は1年間で約30件となります。理由としては、緊急を要する患者及び複雑な治療が必要な場合となります。

◆消化器内科等の医師不足について  
〔問〕消化器内科の常勤医師が減ったことによる多岐にわたる問題についてどのようにお考えでしょうか。また、現在総合病院の消化器内科における治療はどこまで対応可能な状態なのでしょうか。

〔答〕昨年10月から、常勤医師2名を確保することも難しい状況です。

医師不足の対策として、大学の医局や医師派遣業者などに募集活動を行っておりますが、すぐには対応困難な状況です。現在、消化器内科での治療は、胃・小腸・大腸等の一般的な疾患が主で、外来の内視鏡検査を中心にっております。今後は肝臓、胆のう等を専門とする医師を1名増員することで対応可能な範囲を広げていく考えでおります。しかし、医師不足問題が解決しているわけではないので、緊急時の対応について制限が残ると考えております。

〔問〕消化器内科をはじめ医師不足による治療困難問題についてはどのようにお考えでしょうか。

〔答〕地域の皆様に安心して治療を受けていただくことが大切であると考え、総合病院で治療困難と判断した場合であっても適切に多治見の県病院や、瑞浪の厚生病院等への転院を促し、責任ある治療を行っております。

●他病院へ転院を勧められても様々な理由から簡単に病院を変えられない市民も多くいると思えます。転院によって仕事を休まなくてはいけない、または病院へ通えない方もいらっしゃるかもしれません。生活に直結する大きな問題として早急な対応を期待します。

## 《第4回定例会一般質問》



小栗 恒雄

◆政府主導による最終処分場の選定

〔問〕核のゴミの最終処分場の建設について、今後政府主導で選定する方式に転換されました。この日本は、地震国で火山国で断層はどこにあるかわからない。高温多雨で深く掘れば掘るほど地下水が湧きだします。これまでも核のゴミの地層処分には批判がありました。核のゴミの地層処分の安全性は確保できるのか、市長のお考えをお答えください。

〔答〕（市長）核廃棄物の地層処分ということは、非常に専門的な分野で、私の今の知識の範囲内で、安全かどうかは実際問題として難しいかな。本場に100%安全などということには言えませんし、また安全でないとも分かりません。未知の部分がいっぱいありますので、いろいろ研究がされており、今ある廃棄物の処分という事実が大前提としてあり、その中で一番ベターな方法ではないだろうかというところは推測できます。

〔問〕核燃機構の情報開示で、処分場候補として、岐阜県内で瑞浪市、中津

川市、恵那市が挙がっています。契約終了後の瑞浪超深地層研究所の穴の跡利用について、跡利用検討会で検討されております。市長は、跡利用はどのようにお考えでしょうか。

〔答〕（市長）8月21日に開催されました瑞浪超深地層研究所跡利用検討会がございまして、瑞浪市長さんが埋め戻した上で返還を求めるというような発言をされております。私は、瑞浪市長さんの意見に賛同したいと思います。

〔問〕土岐市は、電源立地地域対策交付金を今年度だけでも3億5千万円余を受け取り、職員の人件費に充当されています。この交付金は、最終処分場等を設置しようとするとき、反対意見を出にくくする工作金であり、処分場の選定を政府主導で進める事態に変わり、地元には大変危険な工作金となりました。私は、この交付金を辞退すべきと考えます。市長のお考えをお答えください。

〔答〕（市長）電源立地地域対策交付金につきましては、幅広く財源充当ができるような制度に変わってまいりまして、他の財源が浮きますので、そこに市のやりたいことができるメリットがございまして。市民のためにも私はこの交付金はもらうべきだと思っておりますので、交付金を辞退する考えはございません。



山内 房壽

◆バーデンパークSOGIについて

問 開業以来修繕費、改修費をどのくらい使われたのか。

答 指定管理者が3157万6205円で、市施工分が1億7509万8500円です。

問 収益納付金を積み立てた施設整備基金の積立金残高は。

答 27年3月31日の残高で896万6千円で現在残高は422万8千円となっております。

問 今後の改修の予定は。

答 今後は、大規模の修繕等は考えておりませんが、耐用年数が来たものから改修をする必要があります。

● 今後は市費を投入しないで済むような方策をしていただきたい。

◆テラスゲート土岐について

問 まちゆいの集客数は。

答 6月末までの入り込み客の数字は述べ6万2533人でございます。

問 ギャラリーと、体験教室の実績や評価は。

答 ギャラリーときは今年度中は展示予約が全て埋まっています。陶芸体

験は、オープンから延べ287人の利用で高評価をいただいております。

問 店舗の売り上げは伸びていないと聞かれますが、市内への誘導は。

答 誘導効果をはかることは難しいですが、市内への入り込み客数は増加しているという状況です。

問 運営経費は年間どの位ですか。

答 人件費、賃借料、共益費、光熱水費など、合計1987万5千円が、運営経費です。

● 運営経費に見合う効果を出していただきたい。

◆介護について

問 施設の入所待機者は。

答 県内の施設に352人の入所待機者があります。

問 今後については。

答 在宅介護の限界点を上げる施策の展開と、介護予防事業などを通していく事が重要と考えております。

● 今後介護施設、介護支援の充実に努めていただきたい。

◆新庁舎建設について

問 新庁舎建設工事設計プロポーザルでの新庁舎規模・事業費設定は。

答 延べ床面積を8600㎡から9900㎡で、建設事業費は約40億という金額の提示をしております。

● 建設が公表されて、市民の方々から批判が出ることはないような設計にしていきたい。

《第4回定例会一般質問》



和田 悦子

◆超深地層研究所について

～坑道の埋め戻し工事の監督を～

問 第15回超深地層研究所跡利用検討委員会で2022年1月の土地賃貸借契約期間終了までに坑道の埋め戻しをして土地の返還をしてほしいと瑞浪市長は発言されました。坑道の埋め戻しがきちんと履行されるよう、土岐市も研究所に工事の工程表などの提出を求めてください。

答 安全確認委員会が今後要望していきたいと思えます。

問 電源三法交付金が7年後にはなくなりそうです。その対策は。

答 新たな財源確保や経費削減で対応していくことになると思えます。

問 高レベル放射性廃棄物最終処分に関する自治体向け連絡会に土岐市は参加されました。応募方式から国主導方式に転換したので心配です。どんな質問をされましたか。

答 放射性廃棄物の持ち込み禁止条例があると発言をしました。地元の反対があれば処分場にはしない、と回答がありました。



▲ 84本もボーリングが行われた土岐、瑞浪の地域

問 土岐市、瑞浪市は広範囲にわたり84本もボーリング調査がされている。国は今後、政治的判断で「科学的有望地」として、処分場を押しつけてくる可能性もあります。受け入れないと約束してください。

答 (市長) 何度も言いますが、受け入れはいたしません。

問 頓挫している泉認定こども園建設の現在の状況は。

答 みつば、いずみ保育園は当面の耐震工事をする可能性があるということでご理解いただきたいと思います。

● 万全な政策はないと思うが、今後、機会があれば、子どもと保育士優先の環境を考えてほしいです。



後藤 久男

◆新しい教育委員会制度について  
 問 首長が教育大綱を策定することや総合教育会議の主宰者になることで、教育行政の最高責任者は市長となつたと受け止めておりますが、市長自身はどのように受け止めてみえるのかお伺いします。

答 教育行政に関する仕組みが大幅に変わったわけでありますが、実際のところ、私の実感としては、そんなに制度が変わつたというような感覚はございません。今回の改革の中で、教育の責任者は教育長であるということが明確に示された。人選にあたってはしっかりとした教育長を選任して、教育行政にあたっていただくように努めてまいります。

問 総合教育会議は新法のもとで、基本的な構成員は首長と教育委員会となつているが、改正の主眼である教育行政への民意の反映という点だけを捉えれば、構成員の拡大解釈として、会議そのものを大きなものにするべきと考えるとなつているが、  
 答 構成員の拡大は、法律上その二者

でもって構成されるという規定であり、必要に応じて意見聴取者として関係者や学識経験者から意見を聞き、地域住民の声が地方行政に反映されることは大切であり、必要に応じて意見聴取者から意見を伺っていく。

◆教育問題について

問 文部科学省が公表した、公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きに対する認識について。  
 答 適正規模は12学年18学級以下とされているのが、土岐津・下石・妻木・駄知・肥田・泉小学校と西陵・泉中学校で、土岐津・駄知・肥田中学校は標準に達していないが全学年で毎年度クラス替えができる規模になっている。濃南小・中学校は各学年単学級の状況である。

問 小中一貫（仮称）義務教育学校制度における方向性について。  
 答 今のような小学校6年、中学校3年という仕組みを全く新しい9年学校を創設していくわけで、これが土岐市の子どもたちにとって、本当に健全な子どもたちを育てるという意味でかなり有効であるという議論がこれからなされていくと思っておりますので趣旨を十分に理解してやっていく。

問 小中連携教育から一貫教育と文部科学省では検討を始めているが。  
 答 市長と語る会等で質問が出るが、当面は統廃合はないと考えている。

《第4回定例会一般質問》



水石 玲子

◆防災について

問 市内の防災倉庫の点検について伺います。

答 市内23ヶ所の広域避難所にある防災倉庫の点検は年1回行っている。

問 市内の指定避難所に災害用電話の設置のお考えを伺います。

答 NTT西日本岐阜支店によりますと、今後県内各地への設置を検討中。市内の指定避難所等に設置していきたいと考えている。

問 防災キャンプについて当市の取り組み状況を伺います。

答 市が主催の防災キャンプは実施していない。地域でPTA主催の防災訓練において、講演や炊き出し訓練、避難所体験、着衣水泳、非常食の試食、起震車体験、防災倉庫の見学を行っている。

問 今後の計画を伺います。

答 市主催による防災キャンプの計画はないが、地域や学校などによる計画があれば協力していく。

問 学校で親子の防災教育を推進するお考えをお持ちか伺います。

答 学校での年間の防災計画の中で、あり方について考えているところですので。



▲ 城下町防災倉庫

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略について

問 当市への移住・定住の推進について、子育て世代のお母さんを対象としたママさんアンケートの実施のお考えを伺います。

答 ママさんアンケートのように調査対象を絞り込み、慎重に検討したい。

問 昨年度、県内で県外からの転入がトップというときに、保育料の無料化のお考えを伺います。

答 今年度より実施の子ども・子育て支援事業計画の中で、今後は老朽化した施設、あるいは耐震補強、認定こども園としての整備などを進めていくことになっており、新たな財源が必要になるため、現在、保育料の無料化については考えていない。

# 視察報告

## 議会運営委員会

### 視察期間

平成27年8月11・12日

### 視察先と視察事項

○愛知県岩倉市

○大阪府大東市

議会改革の取り組みについて  
(議会基本条例の運用状況)

今回の視察先の2市は、早くから議会改革・議会活性化に取り組んでおられ、全国的にも有名な市です。我々土岐市議会としても、これらを視察・勉強することによって、さらに議会改革を進め、議会活性化のためになる様にと視察をしてきました。2市の視察の概要を報告します。

### 岩倉市

岩倉市は名古屋市の北に位置し、交通アクセスの良さに恵まれ、名古屋市のベッドタウンとして発展してきました。地域の狭さから人口密度は高いが、五条川の桜、戦国時代の歴史の香る(山内一豊の生誕地)「いいかんじ」の市でした。

視察事項での特色の1番目は、協

議会を使って協議・意見交換が活発に行われていることでした。2つの常任委員会(総務・産業建設と厚生・文教)に協議会が設置されており、所管事項の協議・意見交換・調整の場として活用されています。委員会で議案の審査をするのは当然ですが、さらに協議会を使い意見を出し合うこのシステムは効果的で、参考にすべきと思われました。常任委員会協議会は委員長の招集で開催され、定例会時の委員会議だけでなく、委員長の判断でいつでも所管事項の協議、調整の場として設定できることは委員会・議会の活性化にとって大変に有効であると思われる。

特色の2番目は、市民との接点が議会報告会と意見交換会の2本立てで実施されていることでした。議会報告会は一般市民を対象に年1回開催されており、意見交換会は3年前から開催されるようになり、一般市民に加えて各界の団体よりテーマを決めて意見交換の場として活用されていました。

特色の3番目は、議会基本条例を制定されていて、その実行状況を検証されていることでした。毎年、年度末に検証会を設け、その結果を「議会だより」に掲載して、市民の皆さんにみてもらうという事を実行されていて、大切なことだと思いました。

議会報告会、意見交換会、議会だよりでの基本条例検証結果の公表など、議会がやってきたこと、考えていることを市民の皆さんに理解していただく活動を大切に実施していました。



▲大東市

### 大東市

大東市は文字どおり大阪市の東にあり、古くから農業が盛んでしたが、昭和になって大阪の近郊都市として、工場、事業所、住宅の著しい増加があり、12万の人口を持つ都市として発展してきました。

平成26年より通年議会を実施され、数多くの議会活性化策を実施されています。議員研修会の充実、職員との懇談会の開催、市民レポーターの設置等いろいろな事業を実行されています。岩倉市のところでも述べましたが、

大東市でも常任委員会に協議会が設置され、定期的に開催されており、当市でも取り上げるよう検討をしなければと思いました。

他の特色は、これも岩倉市と似ていますが、議会報告会と意見交換会の取り組みです。議会報告会は市域を東部・中部・西部の3地域にわけ、年1回開催されており、毎回30〜40人程で開催されていました。

内容は定例会の報告と質問という形で、最近では市民からの質問を聴くという傾向にあるようでした。政策意見交換会は議会報告会とは別に年1回市内1ヶ所で開催され、70〜100人規模で開催されていました。区長会など各種団体よりあらかじめテーマを決めて意見・要望を聞き、そのテーマに沿って質疑応答をし、最終的には市長に提言することを目的に実施されています。意見書などの議員提出案件が多くみられ、これらの活動の成果だと思われました。

特色のもう一つは、傍聴者増加対策の実施でした。各種団体に呼びかけて、一般質問のときに傍聴に来ていただくようお願いをされ、毎回50人程の傍聴者が実現していました。開催日を日曜日にしたり、夜間議会にしたり、また質問時間を工夫して傍聴がしやすいように努力もされていました。

# 平成27年度議会報告会を開催しました

## 6会場で173人が参加

土岐市議会では、平成27年度議会報告会を去る7月27日から8月7日にかけて、中学校区を単位に市内6か所で開催しました。昨年度につき2回目の報告会で、今後も開かれた議会を念頭に、皆様への説明責任を十分に果たしてまいります。

### ○報告内容

- ・議会改革について これまでの議会改革、議会基本条例の特色を説明
- ・平成27年度予算について 福祉、教育、産業・観光、子育て、防災など本年度の主な事業について説明
- ・新庁舎について 新庁舎建設の基本方針について説明



▲ 曾木公民館（8月6日）

### 主なご意見・ご感想

実施報告書及びアンケートに寄せられた主なご意見・ご感想を紹介します。

#### ○議会改革について

- ・市議会の改革について今後どのような市民の声を反映してくれるのか。改革前と何が変わったのか。

#### ○予算について

- ・今後の少子高齢化にどう対応して行くのか、明確にしてください。
- ・社会的弱者に優しい施策と予算を確保してほしい。

#### ○新庁舎について

- ・大賛成。市民の考えを設計に取り入れてほしい。
- ・人口減少なのでシンプルに建設してほしい。
- ・情報管理をしっかりしてほしい。

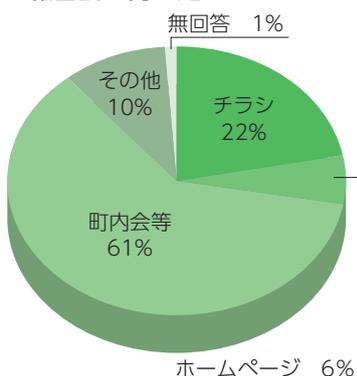
#### ○その他

- ・昨年よりパワーポイントが細かく、又詳しく説明していただきよかった。
- ・報告会の参加者を増やしてほしい。
- ・女性の参加が少ないのでは。
- ・形式的な報告会と思われるので、もう少し市民と話し合えるようにしてほしい。
- ・報告会のテーマを掘り下げて説明してほしい。数字の羅列で分かりにくい。
- ・総合病院の改革について知りたい。
- ・総合病院の赤字経営から健全経営への立て直しを。
- ・市の職員はボランティアの気持ちがないとの意見を多く聞く。土日にボランティアで参加する職員が少なすぎる。俸給がないと参加できないのか。
- ・若年層投票率を向上させてほしい。

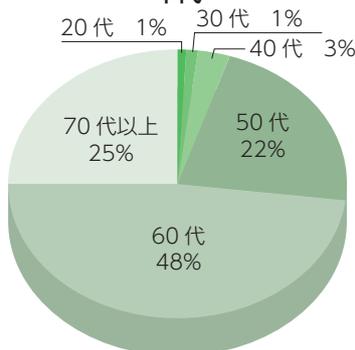
※行政に対する要望等については、市長に報告する予定です。  
 ※議会に対する要望等については、協議・検討していきます。  
 ※報告会で皆様からいただいたご意見・ご感想は、ホームページに掲載しています。

### アンケート結果

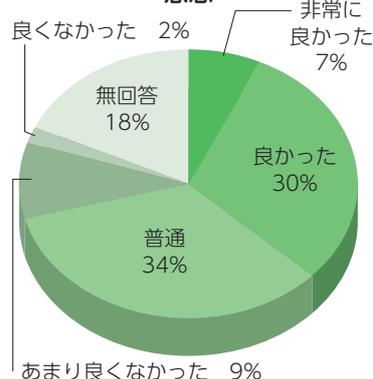
#### 報告会を何で知りましたか



#### 年代



#### 感想



## 編集後記

9月議会定例会が8月24日から9月25日の日程で行われました。今回は主に平成26年度決算、マイナンバー制度に基づく条例、今後10年間の方針である第六次土岐市総合計画基本構想という重要な議案が提出されました。33日間という日程の中で、さまざまな議論が行われ、原案の通り可決・認定することになりました。

特にマイナンバー制度は10月5日に施行してから、全国的に便乗した不正な勧誘および個人情報取得が発生していますので、十分ご注意ください。10月中旬から11月にかけて世帯ごとに世帯全員分の通知カードが郵送されるとのことです。制度をかたった不審な電話、メール、手紙、訪問等には十分注意し、内容に応じてマイナンバーコールセンター等に確認していただき、犯罪に巻き込まれないようお気を付けください。

土岐市議会は本会議休会中も広報広聴特別委員会では、議会報告会のご意見・アンケート結果を協議して、議会に取り入れるよう検討しています。病院改革特別委員会では、総合病院に対して議員もさらに積極的に提言する取り組みを進めています。議会改革特別委員会では、議員研修や政治倫理条例の検討等で、さらなる改革を進めるべく協議しています。

市民のみなさんから、見やすく、開かれた議会運営に努めていきますので、ぜひ議会の本会議や各委員会へ気軽にお越しいただいて、積極的なご意見をいただけることをお待ちしております。議会でもみなさんの輪にはいつて土岐市の発展に役立てるような取り組みも検討してまいりますので、ご協力よろしく願いいたします。

(文責 小関 篤司)

### 広報広聴特別委員会

委員長：山田 正和      副委員長：北谷 峰二  
 委員：西尾 隆久      高井由美子      加藤 辰亥      鈴木 正義  
          和田 悦子      各務 和彦      水野 哲男      小関 篤司

### あなたも傍聴してみませんか

市議会では、市民の皆さまの生活に密着した重要な問題が審議されています。

市役所の傍聴席入り口の受付で住所・氏名・年齢を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

市政を知っていただくためにも、お気軽にお出かけください。

**土岐市議会に関するご意見・ご要望などありましたら、お聞かせください。**

**土岐市議会事務局**

☎0572-54-1111

内線：350・351・352



《会期 11月24日(火)～12月16日(水)》

11月24日(火) 本会議 (議案提案説明)

12月3日(木) 本会議 (質疑・委員会付託・一般質問)

4日(金) 本会議 (一般質問)

7日(月) 本会議 (一般質問)

8日(火) 第一常任委員会

9日(水) 第一常任委員会

16日(水) 本会議 (委員長報告・質疑・討論・採決)

12月定例会の予定